

(様式 3)

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート

評価実施年月：平成 28 年 10 月

1. 対象事業	秩父市合流式下水道緊急改善事業
2. 実施主体名称	秩父市
3. 計画期間	平成 21 年度～平成 25 年度
4. 対象事業の進捗状況	
①スクリーン設置 雨水吐き 6 カ所について、すべて設置済みである。	
②高速ろ過施設の設置 秩父市下水道センターに設置済みである。	
5. 目標の達成状況と達成の見通し	
【目標の達成状況 平成 25 年度末値／目標値】	
①汚濁負荷量の削減	63.6 t/年／69.0 t/年 100%以上
②公衆衛生上の安全確保（未処理放流回数）	113 回/年／130 回/年 100%以上
③夾雑物の削減（対策を講じた雨水吐の箇所数）	6 箇所／6 箇所 100%
①汚濁負荷量の削減 目標年次の平成 25 年度末において、目標を達成した。	
②公衆衛生上の安全確保 基準年としている平成 16 年度末（計画策定時点）において、すべての吐き口で目標を達成している。	
③夾雑物の削減 目標年次の平成 25 年度末において、すべての吐き口で目標を達成した。	
6. 対象事業の整備効果の発現状況等	
・雨天後の美観改善効果 スクリーン等を設置したことで、放流されていた夾雑物が除去されることにより、降雨終了後の放流先水域における美観が改善された。	
・河川水質の改善効果 高速ろ過施設を設置し、河川へ未処理放流される雨水量を低減させることにより、放流負荷量が低減し、河川の雨天時 BOD を低減された。 また、夾雑物に付着する BOD も削減されると共に、継続的な法基準の達成が見込まれる。	
7. 事業の効率化に関する取り組み状況 (事業完了)	
8. 今後の方針	
・高速ろ過及びスクリーン等対策施設の適切な維持管理および、法令に基づく雨天時水質検査を通し、対策施設の効果を継続的に確認するとともに、維持管理の妥当性を確認してゆく。	